

胃底腺型胃癌に対するキャップ吸引粘膜切除法(EMRC)と内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の治療成績の比較に関する後ろ向き研究

1. はじめに

神戸大学医学部附属病院消化器内科では、2013 年 4 月 1 日～2024 年 9 月 30 日の間にキャップ吸引粘膜切除法(EMRC)ないし内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を受けられた成人の患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

2. 研究概要および利用目的

神戸大学医学部附属病院消化器内科では、胃底腺型胃癌に対してキャップ吸引粘膜切除法(EMRC)や内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を行っています。胃底腺型胃癌は腫瘍径が小さく、リンパ節転移も稀なため、内視鏡的切除の適応として一般的にESDが行われています。一方で胃のU領域、特に穹窿部に発生が多く、この領域はESDの技術的困難部位であり、リスクも高いとされています。EMRCはESDと比較して短時間かつ穿孔率の低い治療法ですが、胃底腺型胃癌に対する治療選択としてEMRCは十分検討されていません。そこで、2013年4月1日～2024年9月30日の間に当院でEMRCまたはESDを行った患者さんのデータをカルテから収集し、治療成績について検討することとしました。

3. 研究期間

この研究は、研究機関の長による研究実施許可日から 2026 年 3 月 31 日まで行う予定です。

4. 研究に用いる情報の項目

- 1) 患者基本情報(患者さんカルテの診療基本情報): 年齢、性別、身長、体重、BMI、治療日、治療前生検の有無、治療前生検の病理組織、抗血栓薬内服の有無
- 2) 内視鏡治療の所見: 部位、形態、内視鏡治療の方法、施行医、切除時間、合併症の有無、追加治療の有無
- 3) 内視鏡治療病変の病理所見: 組織型、腫瘍径、腫瘍深達度、脈管侵襲、切除標本径、完全切除率、一括切除率

既存情報の利用を開始する予定日

2025 年 2 月 10 日

5. 研究機関

この研究は以下の研究機関と責任者のもとで実施いたします。

神戸大学医学部附属病院 消化器内科 (研究責任者: 吉崎 哲也、機関長の氏名: 眞庭 謙昌)

6. 外部への情報の提供・取得の方法

この研究は神戸大学医学部附属病院のみで実施されるため、外部への情報の提供や取得はございません。

7. 個人情報の管理方法

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの試料や情報は直ちに識別することができないよう、対応表を作成して管理します。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、神戸大学医学部附属病院 光学医療診療部の鍵のかかる保管庫に保管します。

8. 情報の保存・管理責任者

この研究の保存・管理する責任者は以下のとおりです。

神戸大学医学部附属病院 光学医療診療部 吉崎 哲也 (研究責任者)

9. 研究へのデータ提供による利益・不利益

利益・・・本研究への参加後、診療カルテ情報を提供していただいた場合でも、あなたに直接もたらされる利益はありません。

不利益・・・本研究では診療カルテ情報を収集して分析・測定等を行いますので、あなたが被る不利益は特にありません。

10. 研究終了後のデータの取り扱いについて

この研究で取得した患者さんの治療に関する情報は、論文等の発表から 10 年間は保管され、その後は患者さんを識別する情報を復元不可能な状態にして破棄されます。また、患者さんが本研究に関するデータ使用の取り止めを申出された際、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄(データの削除、印刷物はシュレッダー等で処理)いたします。

11. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合には、患者さんを特定できる情報は利用しません。

12. 研究へのデータ使用の取り止めについて

いつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記の[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めを希望されたとき、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、取り止めを希望されたときにすでにデータがコード化されていたり、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合もあります。

13. 研究に関する利益相反について

本研究の研究者はこの研究に関連して開示すべき利益相反(COI ※)関係になる企業などはございません。
※研究における、利益相反(COI(シーオーアイ):Conflict of Interest)とは「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれに当たります。このような経済的活動が、研究の結果を特定の企業や個人にとって有利な方向に歪曲させる可能性を判断する必要があり、そのために利害関係を管理することが定められています。

14. 問い合わせ窓口

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

神戸大学医学部附属病院 消化器内科 担当者: 芦崎 理沙

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-2

TEL: 078-382-5774

FAX: 078-382-6309

受付時間: 10:00 - 17:00 (土日祝日はのぞく)